

令和6年度市町村保健事業担当者研修会開催レポート

開催日 令和6年8月21日（水）14時～16時40分 Zoomによるオンライン開催

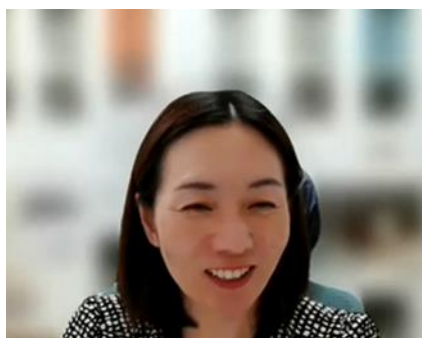
今年度の研修会は、オンラインにて開催し、後日研修会動画を限定配信しました。高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施をテーマに、県国保医療課と国保連合会と共催で開催したところ、県内58市町村の他、県保健所等から申し込みがあり、160人の職員が参加しました。

○説明

広域連合から一体的実施の概要、国保連合会からKDBシステムの活用について説明を行いました。

今後も第3期データヘルス計画に基づき、一体的実施の推進を重点項目とし、市町村と連携しながら、保健事業を実施してまいります。市町村におかれましては、一体的実施に取り組む上で、事業の進め方やKDBの操作等に悩むことがございましたら、いつでもお問い合わせください。

○講演 『後期高齢者におけるフレイル予防 ～後期高齢者の質問票を活用した評価方法～』



大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
総合ヘルスプロモーション科学講座
包括看護科学研究室 榊山舞教授

講演では、大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻総合ヘルスプロモーション科学講座包括看護科学研究室 榊山舞先生に、講演を行っていただきました。

後期高齢者の特徴や事例を交えながら、健康状態不明者対策のポイントや後期高齢者の質問票を活用した評価等についてお話をいただき、保健（保険）部門だけでなく、介護部門から参加された方も興味を持って聞いていただけたのではないかと思います。また、対象者への通知や事業評価など、医療専門職の方々が事業を進めるうえで悩みの多い部分の説明では、今後の参考になることも多かったのではないのでしょうか。

今回の講演をきっかけとして、健康状態不明者対策をはじめとするハイリスクアプローチやポピュレーションアプローチの取組がより効果的に進むことを期待します。

一体的実施は、地域の高齢者の介護予防・健康づくりのための制度です。広域連合では、市町村や県国保医療課、国保連合会とも連携し、一体的実施を推進してまいります。

参加者の声（アンケートから抜粋（要約））

- ・高齢化が進む中で、医療費介護費等の面から早期発見、早期治療の重要性を改めて感じた。また、平均寿命と健康寿命の乖離を短縮するためにも一体的実施の取り組みを実施していきたい。
- ・健康寿命延伸に向けての取組やフレイル、健康状態不明者に対する介入方法等について理解を深めることができた。
- ・客観的データを用いることで評価が可能になるだけでなく、より効果的な事業展開や周知への説得につながることを学んだ。
- ・通いの場で後期高齢者の質問票を取り入れているが、地域の医療職と共有して個別に継続支援できるように活用していきたい。
- ・案内通知やデータの見せ方について、他自治体の工夫が参考になった。